

平成 2 8 年第 2 回鹿角市議会定例会 代表質問

□質問順位及び質問所要時間

3 月 7 日（月）午前 1 0 時～

- | | | | | |
|---|------|----|--------|---------|
| 1 | 兎澤祐一 | 議員 | 公明・鹿真会 | （6 0 分） |
| 2 | 宮野和秀 | 議員 | 誠心会 | （6 0 分） |
| 3 | 田口裕 | 議員 | 創生会 | （6 0 分） |

□質問時間割当表

10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
3 月 7 日（月）	兎澤祐一 （60 分）	休憩 10 分間	宮野和秀 （60 分）	休 憩	田口 裕 （60 分）	

平成 2 8 年 第 2 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.1

順位	1	会派名	公明・鹿真会	代表質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	6 0 分
質 問 事 項		質 問 要 旨					
1	鹿角市人口ビジョンについて	① 市では特殊出生率の根拠となる想定をどのように考えているか伺う。 ② 若者の結婚に対する意識をどのように啓発していくのか伺う。 ③ 鹿角市の人口目標をどのように達成していくのか伺う。					
2	鹿角市まち・ひと・しごと創生 総合戦略について	① 5年後の鹿角市のあるべき姿がどのように変化しているのか伺う。 ② 毎年1.5%ずつ減少してきた市の人口や市民の生活、並びに各産業の市内生産額はどのように変化していくのか伺う。					
3	雇用をつくるについて	① 農業経営体の強化は、早急に行わなければならないと考える。現在就農している方々が、安心して次の世代に渡していける仕組みなどの対策はどのようなになっているか伺う。 ② 新卒者の企業への定着に対するための取り組みについて伺う。 ③ 「まちなかオフィス」の整備にあたって、「テレワーク」の導入はできないか伺う。 ④ 起業・創業支援については、若者の「夢」へのチャレンジ応援として、地域で一丸となつての応援はできないか伺う。					
4	観光について	① 観光産業の振興については、観光客のニーズの変化に対応して、広域での新たな観光ルートの開拓、海外からのお客様への案内板の設置なども、広域で対策を講じていくべきと考えるがいかがか。					

平成 2 8 年 第 2 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.2

順位	1	会派名	公明・鹿真会	代表質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	6 0 分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
5	移住促進について		① 移住促進については、新たに移住・定住サポーターや移住ネットワークの構築の取り組みを具体的にどのように進めるのか。移住のニーズへの対応はどのように行われているのか。また、民間との連携はどのように行っているのか伺う。				
6	「総合教育会議」について		① 昨年4月から施行された「総合教育会議」について、今までに何回開催されたのか。また、メンバーと内容について伺う。 ② 会議は原則公開となっているようだが、鹿角市ではどのようになっているか伺う。				
7	「子どもたちの育ちと学びを支援する体制」について		① 「子どもたちの育ちと学びを支援する体制」について、家庭教育の重要性に言及しているが、保護者の家庭環境を考慮した対応について伺う。				
8	市民全員が活躍できる取り組みについて		① どこまでも鹿角で生きる人、育児をしながら働く人、保育や介護サービスを利用する人の視線に立って、各制度の隘（あい）路を切り開く取り組みについて伺う。 ② 難病や障がい者、ひとり親家庭など特別な配慮が必要な方々の活躍に光を当てた取り組みの強化も必要と考えるがいかがか。				

平成 2 8 年 第 2 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨				
1 6次総前期基本計画の総括について				① 前期計画では、5つの重点プロジェクトを設定し取り組んできたが、これら重点プロジェクトが目指した目標の達成状況はどうであったのか、プロジェクトごとに伺う。				
2 鹿角市における特徴的産業の振興について								
(1) 農業の振興について				① 担い手の高齢化と減少が進行し、また、TPP妥結による農産物の自由貿易化の拡大、さらには耕作放棄地の拡大と農産物販売額の減少など、取り巻く情勢は厳しさを増している中、市では農業構造改革ビジョンにより、これまでの生産重視型の農業から販売重視の農業構造に改革していくこととしているが、新年度においては、その戦略に基づいてどのようなことに取り組んでいくのか伺う。 また、鹿角はキノコの宝庫であるが、食品加工と結びつくキノコの栽培拡大も重要な資源と考える。他産業とも連携して具体的にに取り組んでいくことはできないか伺う。				
(2) 観光振興について				① 観光・交流人口の拡大においては、去年は種苗交換会やインターハイなどの要因もあって、観光・宿泊数は若干伸びているようだが、まだまだ本来の観光客数には戻っていない。今年は、十和田八幡平国立公園80・60周年の記念すべき年でもあり、記念事業として取り組む内容と、今後の観光・交流人口の拡大をどのように進めていくか伺う。				
(3) 食料品製造業について				① 食料品製造業は、従業員数・出荷額とも他の製造業を圧倒しているが、付加価値率においては秋田県平均を下回っている状況にあり、これは地域の有利性を生かした産業連携や高付加価値の取り組みがまだまだ不十分であるということを示している。農業生産者との連携の強化や加工商品開発、販売力の強化など、さらなる高付加価値化や販売戦略などへの集中的な取り組みが必要と思うが、新年度においてどのような取り組みをしていくのか伺う。				

平成 2 8 年第 2 回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	宮野 和秀	質問所要時間	6 0 分	No.2
質 問 事 項				質 問 要 旨				
(4)「6次産業課」の創設について				① 本市の特徴的産業の振興を考えると、鹿角市はまさに6次産業のまちということが言える。したがって、これらを強力に推進していくためには、これまでの農業や商工業、観光といった縦割りの組織では対応できないことから、6次産業のまちを目指す本市の特徴的取り組みを示すうえでも、農産物の生産・加工・商品化から販売戦略までを一体として取り組む、仮称「6次産業課」の設置を検討してはどうか。市長の所見を伺う。				
3 組織機構及び職員定数の見直しとスキルアップ体制の強化について				① 一昨年来の不適正事務の発生に対しては、二度とこのような事のないよう万全な改善対応を望むものであるが、一方で、これらの一連の事故の根底にあるのは、事務の不備のみならず、長年の行財政改革による職員数の削減で、事務処理対応力が限界にきているのではないかと。 また、事務経費の削減により職員の研修機会が減り、事務の能力が低下してきていることも少なからず起因しているのではないかと。 さらには、全国の自治体が地方創生に取り組む中、特色ある政策を打ち出していくためには、市役所職員の資質・能力のさらなる向上は不可欠であり、職員のスキルアップ体制を強化することが必要と思う。 これまでも、一般的な職員研修は実施されていると思うが、担当業務での重要課題を検討するための先進地事例調査や専門技術研修などの機会は少ないように思う。 ネットで情報収集できる時代だが、それだけでは生きた情報は得られない。そこに至るまでの取り組み状況や実態を知ることが、事務処理や政策を進めるうえで大変重要と思う。 これら業務量の増大、多様化に対応した職員のスキルアップ体制の強化と効率的な組織機構の見直し、さらには職員定数の増員見直しが必要と思うが、市長の所見を伺う。				

平成 2 8 年 第 2 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.3

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	宮野 和秀	質問所要時間	6 0 分
質 問 事 項		質 問 要 旨					
4	十和田八幡平観光路線バスの廃止について	① 八幡平山頂への定期路線バスが乗客数の低迷から 4 月以降廃止されとの情報であるが、十和田湖への観光路線も廃止されており、十和田八幡平国立公園が 8 0 ・ 6 0 周年を迎えるときに大変残念なことである。 利用客が少ないとはいえ、この路線がなくなることは観光地のイメージ低下につながり、観光客数のさらなる減少が心配されるが、市としてこの対応策は検討しているのか伺う。					
5	コモッセの利用促進について	① コモッセは、初年度において予想を上回る利用があったことは大変喜ばしいことであるが、これら集客施設は 2 年目以降が正念場であるとも言われている。 1 年を経過して利用者の反応・意見はどうだったのか。また、事務室の狭さが指摘されているが、これらを踏まえて 2 年目の運営体制をどのように改善していくのか。さらには、引き続き利用者を引き付けていくための特徴的な企画等を考えているのか伺う。					
6	民間住宅リフォーム支援事業について	① 事業の存続が心配されていたが、県・市とも継続されると聞き安心している。今回の継続によって縮小、または拡大されたものがあるのかなど、従来との相違点を伺う。 また、高齢化社会における定住環境の向上という地方創生にもつながる事業であることから、一定期間は継続していくべき事業と考えるが、今後の方針も含めて市長の所見を伺う。					
7	木質バイオマスストーブの普及について	① 市の総合戦略において、森林資源の有効活用及び地産地消の観点から、木質バイオマスストーブを農業用ハウスなどで実証し普及していくとしているが、木質バイオマス燃料の普及拡大を進めていくためには、実際に公共施設に設置し、実証・ P R していくことも必要と考えている。 そこで、新年度において改修事業が計画されている旧鹿角郡公会堂の暖房に木質バイオマスストーブの設置を検討してはどうか伺う。 ストーブの P R 効果とともに、大正ロマン馨る公会堂の魅力アップにもつながると思うがどうか。					

平成 2 8 年 第 2 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.4

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	宮野 和秀	質問所要時間	6 0 分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
8	結婚から出産・子育てまでの一貫した支援策について			① 鹿角市は、これまでも子育て支援が充実したまちとして評価されているが、結婚から出産・子育て支援までの一貫した支援策のさらなる充実強化が図られることは、出生率向上はもとより移住定住に向けての大きな P R 材料にもなるものである。 そこで、新年度において取り組む新規施策、事業の内容について具体的に伺う。			
9	小中学校の再編について			① 高校の再編が地域の大きな課題となっているが、小中学校においても児童生徒数が減少しており、統合再編は避けられないものと思う。小中学校の児童数の現状と推移、今後のスケジュールについて伺う。			
1 0	誠心会から昨年 3 月に政策提言をした内容の計画への反映について			① 誠心会では、昨年 3 月に会派として地方版総合戦略及び後期基本計画策定にあたり、6 項目について政策提言を行ったが、その提言内容について、どの程度反映していただいたものか伺う。			

平成 2 8 年 第 2 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.1

順位	3	会派名	創生会	代表質問者	田口 裕	質問所要時間	6 0 分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨				
1 公共施設への設備投資が続いているが、財政及び保守修繕計画について				① 第6次総合計画の前期5カ年（H23～27）での公共施設への総投資額、後期5カ年（H28～32）の投資予定額、市債残高及びその償還のピーク年次とその額はどれくらいか伺う。 ② この5カ年の投資額が突出しているが、既存施設と合わせ、保守修繕が多大となると思うが、どのように考えているのか伺う。 ③ 人口減少時代を迎えて、財政の圧縮が想定される。新たな「ハコモノ」を規制し、施設総量の縮減を目指すべきと考えるがいかがか。				
2 行政改革の効果と課題について				① 行政改革の現状をどのように評価しているのか伺う。 ② 委託管理による委託先の低所得と不安定な就労が新たな地域内格差を生んでいるが、この解消に取り組めないか伺う。 ③ 相次ぐ不祥事に対し、どのように取り組み、市民の信頼を取り戻していくつもりか伺う。				
3 人材不足問題と地域の事業者の維持、雇用形態の改善について				① 急激な人材不足になってきており、その対策強化が必要であると思うが、取り組めないか伺う。 ② 地域のインフラ整備、災害対応を維持するためにも、一定の事業者の確保が必要である。雇用条件の改善による人材確保や発注単価のあり方など、仕組みへの取り組みが必要と思うが、どう取り組んでいくのか伺う。				
4 介護保険制度改正による影響調査と対応について				① 制度改正による介護報酬の引き下げで、どのような影響が出ているのか伺う。 ② 施設とそこで働く職員の実態調査と課題対応に取り組むことができないか伺う。				

平成 2 8 年 第 2 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.2

順位	3	会派名	創生会	代表質問者	田口 裕	質問所要時間	6 0 分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
5	農業後継者へのサポートと育成について			① 4 0 歳以下の専業農業者数はどれくらいか。経営状況の把握をしているのか伺う。 ② 農業後継者が直面している課題へのフォロー体制をとれないか伺う。 ③ 地域農業のあり方に、もっと農業後継者の声を反映させていくことが必要と考えるがいかがか。			
6	スポーツ振興によるまちづくりについて			① 生涯スポーツの底辺を広げるために、誰でも参加できる仕組み、方法を考えていくことができないか伺う。 ② スポーツトレーナー、スポーツドクターの設置に取り組めないか伺う。 ③ 各種大会の内容のレベルアップ、係員、ボランティアの確保など課題に取り組んで、さらなる振興を図るべきと思うがいかがか。			
7	観光事業の広域連携について			① 海外旅行客への対策、北海道新幹線の開通などの状況変化に対し、これまでもまして広域連携による取り組みが求められるが、どう取り組んでいくのか伺う。			
8	まちなかの活性化について			① コモッセのオープンがまちなかの活性化につながっていないのではないか。活気あるまちづくりについて、さらに積極的に取り組んでいくべきと考えるがいかがか。			